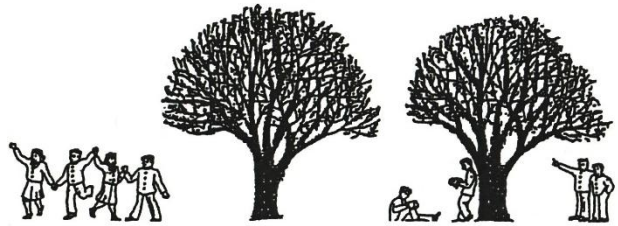


2本のケヤキ

第169号 (令和8年4月9日)



〇〇される人間?

4月7日(火)、いよいよ令和8年度がスタートしました。始業式では、野球界のスーパースター大谷翔平選手が高校時代に立てた目標について話をしました。

大谷選手の大目標は「プロ野球選手になる」ことでしたが、そのために64個の細かな目標を立てていました。その中には「(周)りから〇〇される人間」になるという目標が3つあります。式では、その〇〇に何が入るかのクイズを出しました。

生徒からは様々な予想が出されましたが、正解は「信頼される人間」「応援される人間」「愛される人間」の3つです。これらは、私たちが社会で生きていく上でも非常に大切な要素です。

大谷選手のように野球で活躍するのは難しくても、こうした「人間性」において彼に近づくことはできるはず。皆さんにも、この3つをぜひ心掛けてほしいと伝えました。私自身も、生徒と共にこれらを意識して歩いていきたいと思っています。

だい かい にゅうがくしき 第40回 入学式

4月8日(水)、本校体育館にて第40回入学式を挙行いたしました。今年度は普通科19名、産業科30名、計49名の新入生を迎えました。これは本校40年の歴史の中で、最大人数の入学者となります。

新入生の皆さんには、この3年間で多くのことを学び、自立した社会人として羽ばたけるよう、一歩ずつ歩んでほしいと願っています。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。教職員一同、全力で支援してまいります。本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



しょくいんしつ 職員室のキャッチフレーズ

現在、職員室や校長室には「ICTで時短、DXで自慢、AIは愛」というスローガンを掲示しています(右図)。これには、本校が目指す新しい学校運営の姿を込めています。

まずはICTを活用して業務を効率化し、教職員の「時短」を実現します。次に、単なる

デジタル化を超えて組織を本質的に変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、生徒一人一人に最適な教育を提供することで、自分たちの学校に誇りも持てる「自慢」の環境を築きます。注目の生成AIについても、単なる便利な道具ではなく、教育への「愛」を持って正しく向き合い、生徒の可能性を広げるパートナーとして適切に活用していく考えです。

新しい挑戦には不安も伴いますが、情報化社会の進展に後れを取るわけにはいきません。こうした働き方改革によって生まれる「心のゆとり」は、必ず生徒と向き合う時間の増加や、支援の充実と直結します。教職員が時代の変化を前向きに捉える姿を通して、生徒たちに豊かな学びを還元してまいります。

ほごしゃむ ぶんしょ 保護者向け文書のルビ・翻訳について

本校では、全校保護者向け文書において原則としてルビを振り、翻訳は無しに統一しております。御理解をお願いいたします。

なお、重要文書(個別の教育支援計画、個別の指導計画、通知表、保健関係、事務関係等)については、必要に応じて平仮名表記や翻訳した文書を個別に配付いたします。翻訳していない文書については、翻訳アプリケーションソフト等を御利用いただきますようお願いいたします。

